



湧雲

第9号
2017年8月30日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
17,018名

デザイン・印刷・SALAT (株) サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel: 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp>



白樺は空に向かって立つ

先生、原先生に生徒は男子6人女子2人は時間前に集合。バスは即出発。マザーズカントリーへと気持ちの良いバス旅となる。

昼食の席は眺めの良い場所にリザーブされている。昨年と同様に満席の中でこの一角だけは多少場違いな雰囲気で、あるが楽しいお昼の食事が始まる。簡単に経緯と本日のスケジュールを説明。「植樹の前に食事」などと駄洒落を飛ばし、ご飯もお代りの食事が済んでコーヒータム。食事は早めに終了。バスも早めに来てもらい会場に向かう。

13時に会場着。寒い広場は西側の林のおかげで風のうなりは聞こえるが林に遮られて意外と暖かい。それぞれヘルメットをかぶり、スコップを手にとってバスのすぐそばの小さい会場へと向かう。植える穴は2カ所。2本のミズキをシナノキとミズナラの間に植えることにする。



集合写真



学校長挨拶

午前中の越冬作業は雪交じりの中でも手順よく順調に進み、思いのほか早くに終わった。来年は9時集合で十分に間に合いそうだ。時間余りからゆつくりと寒い中で昼食をとり生徒を待つ。天気予報では午後はピーカン予報。それでもスケジュールを前倒しで進めることにする。学校前では岡戸学校長、佐々木教頭、高橋先生、原先生に生徒は男子6人女子2人は時間前に集合。バスは即出発。マザーズカントリーへと気持ちの良いバス旅となる。

4人一組になって土を寄せる。廻りに水を注いで根と土の間にすき間が

出来ないように水をやる。添え木は既に立てられていて、後はしっかりと縄で苗木を固定して植樹は終了。全員で集合写真を撮り記念植樹は終了となった。



第7回の卒業記念植樹開催される

第69回(29年3月)卒業予定者
参加者 岡戸校長・佐々木教頭・高橋先生・原先生
生徒 一組 渡辺 知宏 篠島 汐音
二組 長内 大貴 本間 優佑
三組 川島 一希 庄司 悠真
四組 櫻井 将貴 松田 百花
同窓会 坪田 堀川 岡部 篠原 寺下
妻神 石川 寺前 溝口

空知総合振興局 森林室砂川事務所長・石川 博道
運転手・秋沢



説明を受ける



しっかり土を寄せて

寒いので取りやめにしようと思つたが沖里河展望台に行くかどうかを聞くと寒くても行くとのこと。バスに乗り込む。うっすらとだが平野部も見え、階段を登りきると頂上。それぞれ学校の場所を確認すると歓声が上がる。全員で記念撮影をして風の吹き抜ける雪交じりの頂上を後にし、駐車場のバスへと向かう。



沖里河山頂で

第二回同窓会親睦ゴルフ大会 盛会のなかで懇親を深める

「同窓の夕べ」開催当日に
合わせて昨年から開催された
同窓会親睦ゴルフ大会です
が、一昨年「8」期の松本
豊・実行委員長のお世話で楽
しく過ごせたことから継続し
て開催していくことが決まり
昨年は「9」期の千葉憲一・
実行委員長の手配で楽しく開
催することが出来ました。優
勝・近藤英人さん（28期）
準優勝・岩田 忠さん（16期）
3位・古村浩一さん（31期）
最高齢は旧中4回生の波多
野 栄さんで元気に参加して
いただきました。



表彰

千葉憲一
実行委員長

開けし 沃野 渺々と 宮脇記念桜 宮脇さん訪問記

2017年5月13日 参加者：堀川・岡部・溝口

前日の12日、突然の電話で八重桜の状況打診の電
話を頂いても「ほっ!!」としたのは11日（木）に。状
況を見ておいたからはつきりと報告できたこと。3
本のうち真ん中の1本が満開に近い咲き具合で日曜
日に見に来てもらえるなら「もう、最高」と思っ
て、何とか宮脇さんに連絡したいと思っていた矢
先だったので妙にうれしかった。阿吽の感で恐縮
してしまつた。市場もなくなつてしまつたとのこと
で「どうしたら会えるか」とのお電話だったので「時
間が判ればお迎えに上がります」とお答えし、到着
時間を合わせ何か突発事態が起こった時の為に携帯
の番号を交換させて頂き打ち合わせを終えた。時間
的には午前10時くらいまでがベストタイムだと申し
上げて了解をもらつた。



満開の桜のもとで



宮脇さん山へ



宮脇氏と岡部専門委員

すぐに岡部委員に連絡。以前から突然来訪される
ので面会のチャンスがなかなかなくていつも「一度
会ってお礼がしたい」と言っていたので連絡を取っ
て了解を得る。状況によっては山に行つてもいい
いのと考えもあった。翌朝、坪田委員長が出張で不
在の為、堀川副委員長に連絡し一緒に同伴の了解を
得る。9時30分岡部委員と駅でお迎え。その足で校
庭の桜を鑑賞。絶好の日と咲き具合で満足を得る
ける。交代で記念撮影をして岡部委員と校庭を巡り
説明を聞いていた。手入れされた校庭に感激し
自然環境を守ることの必要性和自然から学ぶこと
の大切さを今一度見直さなければいけない。自然に
対して人間の罪深さを戒めていた。

岡部委員から「差支えなければこれから山に行つ
て現地を見てもらえませんか?」との案内に快く承
諾して頂き車2台を連ねて山に入りました。雪が残
るため長靴に履き替えて頂いて間もなく広場到着。
広場から見える平野部の眺めを満喫し、囲いをされ
た桜の園と卒業生の植えた木々の中を巡りながら、
是非ともこの事業を進めて欲しいとの思いを語って
いました。切つて無くしてしまうことは簡単だけ
れども育て守ることは大変さを
静かに語ってくれました。修
練道場への案内も考えました
が事前調査ができていない為
今回は断念しました。

山に入る前に宮脇さんから
今年も尊い浄財が封筒に入れ
られて手渡された。受け
取る方は「非常に気が重い」
と何度も申し上げましたが
「まことに申し訳ないが受け
取ってほしい」と手渡されま
した。十分に期待にお応えも
できないにも関わらず本当に
申し訳ない気がしましたが
気持ちを押さえていただきました。
午後から冬囲いの撤収作業が
あるため十分なお世話でも
できずにお送りしただけで
胸が痛みましたが、今回は山
にも入って頂けたこと、現状
までの取り組みを見て頂けた
ことに僅かにではありますが
ホット安堵した気持ちもあり
ます。変わらぬお力添えに本
当に感謝、感謝で頭が下がり
ます。頑張らねば!!

深川西高等学校「緑の学舎運営委員会」

<28年度・事業報告>

昨年報告済み

- ◎ 28.04.02 雪囲いはずし、校庭（堀川・岡部・寺下・溝口）
- ◎ 28.04.07 第一回運営委員会（富士屋）12名 村中委員参加
- ◎ 28.04.28 岡部専門委員育成の寄贈ヤマボウシ5本の顕彰銘版設置

校庭の桜 開花

- ◎ 28.05.04 鉦路八重 開花

未報告分

- ◎ 28.05.14 宮脇氏よりご寄付あり（100万）
- ◎ 28.05.14 春作業（坪田・堀川・岡部・篠原・寺下・村中・溝口）
- ◎ 28.05.21 肥料散布・コンクリート水和剤散布作業（岡部・堀川・寺下）

- ◎ 28.06.04 コニファー水和剤散布作業（岡部・堀川・村中・溝口）

- ◎ 28.06.12 コニファー水和剤散布作業経過調査（溝口）

- ◎ 28.06.15 研修視察（堀川・岡部、石川、村中、溝口）

- グリーンパーク21でハクウンボク。深川小学校でユリノ

- 沼。美咲林業試験場でヤマボウシ他多数の樹木を見学。長

- 沼。「レストラン・ハーベスト」仲野フルーツランド「森の

- シンフォニー」ではヤマボウシ、オオババサガラ。長沼・石

- 田農園で植樹用の農園を巡り多数の樹木を見学

- ◎ 28.06.22 看板取り付け、管刈り作業（溝口）

- ◎ 28.07.15 桜の研修会 内園コミセン（坪田・岡部・堀川・篠原・溝口）

- ◎ 28.08.05 タモの植栽地下草刈り作業（森林組合）

- ◎ 28.08.28 校庭の土壌環境調査（岡部・溝口）

- ◎ 28.10.10 旧御真影跡地の盛土地

- 卒業記念植樹（坪田・堀川・岡部・篠原・寺下・石川・妻神・寺前・溝口）

- ◎ 28.10.16 第7回「ミズキ」学校関係者3名、生徒8名

- 午前中は植栽木の越冬作業 午後から記念

- 植樹。寺前委員初参加

- ◎ 28.10.16 秋の雪囲い（坪田・堀川・篠原・寺下・石川・

- 妻神・寺前・溝口）

- ヤマボウシの補植、校庭の雪囲い、雪害防

- 止の丸土を設置

- ◎ 28.10.23 校庭木の追加作業、殺鼠剤の効果確認

- ◎ 29.04.18 校庭の冬囲い一部撤去（岡部）

- ◎ 29.04.23 校庭の冬囲い残り撤去（坪田・堀川・溝口）

- ◎ 29.05.03 校庭の桜開花

- ◎ 29.05.11 鉦路八重桜開花

- ◎ 29.05.13 宮脇氏来校 ご寄付あり（100万）同窓会

- ◎ 29.05.13 林を見てもらう

- ◎ 29.05.13 山で春作業 雪囲い撤去（堀川・岡部、

- 村中、藤井、溝口）

<29年度・事業計画>

【校舎周辺】

- ◎ 母校の植栽木の生育、安全等の確認（雪害等）、宮脇サクラの管理

【記念植樹地】

- ◎ 記念植樹の桜の追加と管理。

【同窓会林】

- ◎ 開伐地の管理、作業道の管理。学校林作業道の排水管理。

◎ 植生、植栽木調査

【卒業記念植樹】

- ◎ 第8回の卒業記念植樹（70回生）10年サイクル植樹表作成

【研修会等及び啓蒙事業】

- ◎ 視察、研修を随時行う。

2016/10/16（日）好天に恵まれて暖かいので越冬作
業もはかどり大変ありがたかった。北側植栽のヤマ
ボウシ枯死のため撤去。中央部の一本を撤去跡に移
動。撤去跡に宮脇氏への感謝をこめて紅花のヤマボ
ウシを植える。その後冬囲い。1時間半で冬囲いも
行い滞りなく作業は終了した。

2017/05/13（土）上天気の中、広場前の曲りカーブ
の雪がどうにも多くて現場まで行けず断念しかけた
が薄い積雪の所を何度もトライして強行突破。作業
自体は順調に完了。

植栽の現状。桜の補植だが一本は必要だろう。見
込みのあるのはカツラ1本、ナナカマド1本、キタコ
ブシ1本のみ。ドロノキは壊滅、ミズキは2本のうち
1本は補植が必要、シナノキはOK、ミズナラも補
植が必要。何年たっても苦労は消えない。

初夏、紅花のヤマボウシはきれいな紅花を付け
た。盛夏から秋へと楽しみの多い樹種だ。是非訪れ
て観賞してほしい。



ヤマボウシを植え終えて

故・宮武慶一先生遺稿集 全3巻

旧制1回生の卒業生で本校の教師を
勤めておられ最後は留萌高校の校長で
定年を迎えました。その後息子さん
のおられたひたちなか市に住まってい
ましたが3・11の東北大地震で避難所へ
の往復などで体調を崩し2011年3月25
日肺炎により85歳で永眠。

教え子で14回生の西浦（旧姓・稲
毛）妙子さんが2008年からパソコン
で打ち込みを開始。難行苦行の末、無
念にも先生が没後の発行となりました
がB5判で第1巻2012/3/15（542P）
第2巻2012/10/25（526P）第
3巻2013/9/25（545P）各発行の労
作です。非売品ですので手にはいりま
せんが見たい方は深川図書館で見
る事が出来ます。

【特別訃報】

同窓会名簿を開くと筆頭で出てくる名前が
赤川海大さんでした。2017年4月4日、赤
川海大氏 91歳にて永眠。

「お耳に一言」

母校支援事業

◎横断幕、今年の掲示風景 部活激励画像集



2016年8月12日



2016年8月10日



2016年8月2日



2016年12月20日



2016年11月11日



2016年9月22日



2017年6月8日



2017年5月3日



2017年1月31日

同窓会総会開催報告

平成28年度事業報告

自・平成28年4月1日
至・平成29年3月31日
1、会議・行事に関する事項
(平成28年(2016))

- 4月8日・平成28年度(第71回)入学式入学生126名
- 4月20日・役員会
- 4月27日・第73回定時総会参加者46名
- 4月30日・転入教職員歓迎会転入者7名
- 7月31日・役員会
- 9月30日・同窓会会報第8号発行
- 10月18日・第6回の卒業記念植樹挙行政(第68回生)「シナノキ」

【同窓の集い】

- 8月7日・第1回同窓の集い打合せ末尾9期 実行委員長・寺下良一さん
- 9月10日・最終打ち合わせ券集約等
- 9月19日・同窓の集い参加者206名
- 同日、第2回・同窓親睦ゴルフ大会開催
- 11月11日・同窓の集い反省会

(平成29年(2017))

- 2月26日・同窓会入会式入会者158名
- 3月1日・第69回卒業式卒業生158名
- 3月24日・転出・退職教職員送別会転出及び退職者8名
- 28年4月20日・会計監査

【参考】

- 28年5月9日・役員会
- 2、会報の編集
- ①8月30日・第8号発行(通算・第18号発行)

3、母校の後援に関する事業

- ①10年計画による前庭の植栽の点検(9年目)
- ②体育系、文化系共に全国大会、全道大会へ出場する生徒へ支援
- ③10月18日・卒業予定者8名による記念植樹「シナノキ」
- ④プレス幕の貸与。会旗、部旗、健闘幕作成貸与
- ⑤その他

4、会員相互の親睦、交流に関する事業

- ①同窓の夕べの開催(上記報告済み)
- ②各支部現況報告(同窓会会報にて報告)
- ③各期の動き(同窓会会報にて報告)
- ④親睦交流ゴルフ大会の開催
- ⑤その他

5、同窓会林に関する事業

- 委員会報告(別記)
- 6、その他、本会の目的達成のため必要な事業

平成29年度事業計画

- 自・平成29年4月1日
至・平成30年3月31日
- 1、会議・行事に関する事項
例年通り実施
- 2、会報の発行・名簿の作成事業
①第9号の発行予定
- ②会員名簿の発行(2018年発行予定)
- 3、母校の後援に関する事業
その都度、必要に応じて対応
第8回卒業記念植樹の開催：10月9～10日を予定。



阿部校長挨拶



寺下議長



総会風景

- 4、会員相互の親睦、交流に関する事業
- ①同窓の集い実施
○日程・平成28年9月17日(土曜日)
○実行委員会の構成・末尾「0」期 実行委員長 児島俊一(20期)さん
- ②各支部との連携の強化 特に札幌写真パネルの貸与・会報の送付・プレス幕、闘魂旗、闘魂幕の貸与、その他
- ③各期の動向把握の強化
- ④HPの更新作業、深ナビへの情報更新
- ⑤その他
- 5、同窓会林に関する事業
- ①「緑の学び舎運営委員会」の運営
- ②森林組合との情報交換、連携強化
- ③その他
- 6、その他、本会の目的達成のため必要な事業

各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

〔旧中一期〕

先輩も九十二歳からの年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。

〔旧中二期〕(旧制深中2期会)

平成14年を最後に同期全員の開催を取りやめとし以後2、3年ごとに有志で開催していたようですが、さらに高齢になり、開催なし。情報提供者もいない状況です。

〔旧中三期〕(旧制深中3期同期会)

毎年開催。十七年には記念誌「俺の足音」を制作。十九、二十、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三年、二十四年も十月に開催。二十五年十月開催を最後として区切りをつけた。深川市内の有志は年に一回集まっている。

(利波 清一)

〔旧中四期〕(旧制深中4期生)

平成十五年と二十年 故・中島武敏元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まったのが最後。全体の集まりは高齢の為、開催していません。今後の予定もなし。

(波多野 栄)

〔旧中五期〕(旧制深中5期会)

十五年鎌倉。十六年函館。十七年札幌。十八年美瑛。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後

を引継ぎ札幌で集っているが、集るのが難しくなってきたため二十七年に記念のエッセイ集を二集出版した。



〔一期〕

平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京二泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、十二年滝川、十三年岩見沢。十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催を最後に取りやめ。以後開催なし。

(中村 隆志)

〔二期〕

(旧制中学7期・深川西高2期の集い) 毎年秋季に開催していました。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川。二十年「喜寿の集い」をもって期友の会を打ち上げしました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊で温泉旅行を開催二十名参加。二十九年の誕生日で八十六歳。

(大久保博夫)

〔三期〕

東京は毎年開催。札幌は随時開催。深川は三名ですが元気なし。平成十二年を最後に開催していません。

(大鎌 幸雄)

〔四期〕

(深川西校第4期生同期会) 代表・宮脇 敬 札幌ではなんと毎月集まって親睦を深め無事を確認し励ましあっています。十六年札幌は六月、東京・

四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。二十二年六月「喜寿を祝う同期会」を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。

(佐藤 範子)

〔五期〕

不定期開催。最近開催なし。

(南 進)

〔六期〕

(西高29会) 代表・永野慶昭 われらも八十三歳となりました。深川支部は二九会なので毎年六月二十九日に開催して毎年旅行を実施したり昼食会を行っていましたが昨年総意を得て解散いたしました。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まっています。全体の開催は十七年札幌が最後。(別頁記載)

(平田 廣美)

〔七期〕(深西7期同期会) 代表・岡部誠二 三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川で開催。二十六年九月札幌開催。二十七年、二十八年と深川で連続開催。(別頁記載)

(手島 克)

〔八期〕 不定期開催。20年6月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで65名参加。それ以後は各クラスやグループが少人数で開催。21年8月深川在住者。9月には

〔九期〕

代表世話人・仲野勝介 10年深川・12年旭川・14年札幌・16年北竜。18年東京。毎年開催の意向を受けて19年秋に定山溪、小樽。19年3月深川在住者で開催。20年9月深川開催・(ゆう&ゆ)に47名。23年9月4日 沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。24年5月8日、東京方面でミニ同期会で5月9日市内在住者のミニ同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。25年は7月10日旭川で開催。26年10月15、16鬼怒川温泉で23名参加開催。27年は開催しませんでした。毎年市内在住者で同期会開催、今年9月に予定。

(倉嶋 克郎)

〔十期〕

(深川西校第十期同期会) 十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。二十六年十月十八日、十九日札幌にて開催。参加者四十五名。

(星野 友雄)

〔十一期〕

十二年八月還暦記念を深川で開催、十六年は八月札幌七十名。十八年十月深川で開催。二十年札幌。二十七年深川で開催。

(中井幸太郎)

〔十二期〕

(西高35年卒同期会) 十三年秋、還暦同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。

(板倉 克宏)

〔十三期〕(三六会・サボロウ会)

代表・吉川 保 十年H.P開設 M.L(倉山昭男) <http://www2.big.or.jp/~yycub/> <http://www.egroups.co.jp/group/36KAI>

十四年六月還暦記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。二十八年七月札幌で開催。(別頁記載)

(佐藤 豊秀)

〔十四期〕

16年5月還暦同期会を開催。深川ホテル 20年2月天人峽パークホテル。21年9月13日深川にて開催。同期生76人、恩師3名。24年9月13日札幌支部による発起人で開催。27年1月、新年会を札幌で。深川近郊同期昼食会を28年5月、9月に開催。首都圏同期会を28年10月に開催。(別頁記載)

(堀川 勝之)

〔十五期〕

(深西38会) 代表・菅原明義 札幌・吉田 裕、檜山秀紀 以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催、六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十一年なので、その間で一回開催予定です。

(菅原 明義)

〔十六期〕

(深川西高16期卒業同期会) 代表・星野 孟 五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催。

次回は二十九年六月深川にて開催。
(別頁記載)

(星野 孟)

〈十七期〉(高17期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回開催が約束だが二十七年十月に卒業五十年に当たり前倒し開催。毎年、秩父別で一泊ゴルフで親交を深めている。

(濱田 靖夫)

〈十八期〉(猪子会・いのね会)

代表世話人・宮岸徹二

17年9月札幌にて開催60名。20年10月、富士屋にて開催60名。東京組は随時開催で20年は9月。札幌組は随時集合。深川組は毎年夏、冬と開催している。

23年10月16日 札幌にて開催。26年7月12日開催。29年7月8日深川開催。(別頁記載)

(深沢 倬子)

〈十九期〉(深川西高19期卒業同期会)

代表・千葉憲一

五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧駒別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。(別頁記載)

(寺下 良一)

〈二十期〉

(深川西高第20期卒業同期会)

代表・児島俊一

四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加(深川ホテル)。十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。

二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。道内在住者の有志

で年三回、親睦ゴルフを盛会の中に開催しています。冬期オリンピック開催年には十一月頃東京で開催。二十八年八月六日深川開催。(別頁記載)

(小川 広見)

〈二期〉

十四年八月。十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め、二十六年九月二十日札幌にて開催。次回開催は平成三十年深川開催決定。

(梶川 寛)

〈三期〉

十二年卒後三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。二十七年深川で開催。

(松原 和男)

〈三期〉

十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。二十四年六月三十日板倉にて卒後四十年を記念して開催。

(齋田 光章)

〈四期〉

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十一年で開催。現在は二年に一回札幌開催。(別頁記載)

(伊藤 政雄)

〈五期〉

十四年十一月に札幌にて開催七十名参加。二十六年十一月還暦同期会を札幌にて開催。参加者八十名。

(矢野 正樹)

〈二六期〉(49年卒業同期会)

代表・渡辺 純

十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同期の集まりを持つこととしており、二十六年は二十人が集まり交流しました。二十九年六月二十四日開催。同窓会幹事二十九年度まで高瀬昌之、三十〜三十一年度は松野正明が担当。

(高瀬 昌之)

〈二七期〉

十六年一月二日開催し七十四名参加。今年開催の予定。

(吉田利江子)

〈二八期〉(第28期同期会)

代表・三ツ井隆博

三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。

(増永 博志)

〈二九期〉

(荒井 清光)

〈三二期〉

卒業二十年を十一年に深川で開催。百名。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年十月に開催。

(宮沢 孝司)

〈三三期〉

二十四年一月二日、板倉にて二十八年ぶりに八十五名の参加者を獲得開催しました。五年経過したので開催の方向です。

(三上 貴康)

〈三三期〉(元気でやってる会)

代表・紺野浩治

二十三年八月十三日(第四回)板倉にて開催。二十七年八月(第五回)を板倉にて開催。

(今西真理子)

〈三四期〉

卒業二十年を十四年に深川で開催。

〈三五期〉

卒業十五年を十年に深川で開催。

(田中 一幸)

〈三六期〉(深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催、九十九名参加。

卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生)掲示板を開設中です。

(渡辺 哲男)

〈三七期〉

十四年に板倉にて開催。

(佐藤 秀樹)

〈三九期〉

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

〈四二期〉

二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日に開催。

(佐藤 之彦)

〈四四期〉

二十三年一月開催。

〈四六期〉

二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本震災の被災地支援の関係から消滅、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり

四十名余の参加となった。(佐藤 自真)

〈五四期〉

二十三年六月十三日、ブランシェーリジュに五十人が集合。

(及川 賢一)

ご協力戴いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になっております。

記載の情報は前年までの情報に新たな情報を追加しただけの十九年間の積み重ねです。事務局では記載の期以外は把握して居ません。きつと開催しているところもたくさんあるのだろうと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力していますがなかなか望みがありません。情報をお寄せ頂ければより充実した会報になるのですが…。それぞれの期の幹事・連絡者の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。



2016年秋に

我らの同期会

「深西高29」

解散に当たって

平成28年6月26日：吾らの「深西高29」が解散しました。何でもそうですが、失って初めて、その存在の意義を改めて認識するものです。

思えば、平成10年の春、定年後勤務していた妹背牛町民会館（当時は公民館）に平田さんが訪ねました。「西高卒業生の同期会を作ろう」と話を持ちかけてきたのです。その話を聞きつつ、40数年前、机を共にしたあの青春時代が甦る気がしました。実現に向け行動開始です。

北空知を中心にその近辺に居を構えている同期に呼びかけました。

昭和29年3月卒業、第6期生であるので、それにちなみ「深西高29支部」と名称し、会合を6月29日としました。翌年の平成11年6月29日、「日の出会館」で18名が参加して設立と総会を兼ねて行われました。何せ40数年ぶりに顔を合わせる旧友もあり、青春に戻った雰囲気の中でスタートしました。それから18年間続いたことになりました。

初めの頃は高校時代の想い出、担任やクラスメイトのこと、そして今だから話せること等々でした。それが年々、話題は次第に膝や腰が痛むとか将来の不安や健康になってきました。

この間、学校林での植林参加、その集大成の『緑魂は、時空を超えて』を手にし、それらを通して、吾が母校の『建学・開学の志』と共に、改めて多くの先人の願いや支え伝統、それらによって培われた本校の個性を認識し更なる発展を願いました。

また近いうちに、ひよっとするとお世話になるかも知れない各施設の訪問もいたしました。

会員も加齢と共に、子どもの所に転居、或は鬼籍で徐々に減り、その上、病で身体が思うようにならない方もおり、総会の参加者も8、9人といった状況になりました。総会に出られなかった会員に少しでも活動

の内容を知ってもらおうと「深川支部会便り」を平成24年8月1日に第1号を発行しました

便りの内容は総会のこと、会員から投稿してもらった思い、近況報告やアンケート、行事のお知らせ等々でした。それも解散と共に平成28年8月27日の最終号をもって幕を閉じました。数えて見ると33回発行していました。その都度、平田さんが病身の会員の所に届けてくれました。参加は出来ないもの、一枚の便りが同期の心の繋がりになり、大きな励みになったと何とておりです。

人間は加齢とともに感動が薄らいでいくとのことですが、七夕の如く年に1回の顔合わせでも何か心が青春に戻ったような大いなる感動を与えてくれた「深西高29」でした。

健康寿命の向上には、運動や食生活への配慮は勿論ですが、仲間と交流を深めることが最たるものであることをこの組織を通して痛感いたしました。

解散して3ヶ月が過ぎました。何かポカット穴が空いたような気もしますが、会員の温かい拍手の中で「解散宣言」し、会員の皆さんとの共生で18年間で継続出来たことを心の財産とします。

与えられた人生の定年は分りませんが、「まだまだ」の前向きな気持ちで日々を過ごしたいと思っています。

第7期同期会

平成二十八年七月五日、涼しい風が街路樹を優しく揺らしている良き候、札幌市駅前TKPガーデンシティにおいて三年続けた同期会を開催しました。

この同期会は、長い間三年に一度の開催でしたが、一昨年の会合で、この先を考えるとお互い楽しいことが多いほうが人生を豊かに過ごせる、とのこと毎年開催することとしました。参加者は、深川・札幌は勿論、広く道内そして東京より鈴木大吉君、白川テイチさんが駆けつけてくださり、総勢二十四名の参加を得ました。特に女性はお互い誘い合い十二名の参加で、ウーマンパワーを示しました。

会は開催地代表の高橋幸治君のバイオリンでの校歌演奏で始まり、参加者は詩を口



ずさみしました。宴会では①村上幹男先生・津田律司先生の近況を問う声②野球部の人が殆ど鬼籍に入ったこと③まだ現役で頑張っている人④大きな町内会の会長の任に当たっている人⑤麻雀やパークゴルフを楽しんでいる人⑥学校林を守っている人⑦深川の現況等々話が綿々と続きました。

私たちは今八十歳になっています。八十といえば随分の歳です。でもみんな心は元氣そのもので歳を感じません。歳を忘れていきます。同期会に出て、勝手自由語り合っ、そんなところに元氣の源泉の一つがあるのかも知れません。この会は幹事に頼んだ人は一度も断られたことはありません。今回も七人が直ぐOKでした。嬉しい限りでした。

会の終わりに第七期の代表の岡部誠二君より、来年も札幌で開催すること、そして幹事を渡す完君・小林克彦君・北垣敏道君に依頼したと、更に女性も三人に依頼されたら快く引き受けて欲しいとのことが話されました。

不思議です。「歳だからもういいや」という人は居ません。みんな前向きです。それだけに積み上げてきた同期会の重みを感じます。来年の再会を今から楽しみにしています。

二十八八月三十日・記

庶務・原進

〈十三期〉深西三六会 （ふかにしきぼううかい）

「こんど、札幌でやろうよ」と言う合言葉が圧倒的に多かったのが、前回の平成二十四年例会。約束どおり、札幌開催となりました。

二十八七月二十二日（金）、ホテル札幌ガーデンパレス。恩師田中芳雄先生（ご夫人同伴）、戸田輝夫先生、新西良子先生をお招きし、同期女子七人、男子二十三人が集結しました。

田中先生の近況をお知らせします。先生ご夫婦は、共に八十二歳ですが、特に、先生は、背筋が伸び、お顔ははつらつとしており、とてもご健勝そのものです。ご夫婦は週二回の水泳教室通い、コンサートの鑑賞、あちこちの散策、元気に病院通いと週一です。すがりゅく一杯の買い物などに務めているそうです。



さて、宴会模様は一・二次会ともホテルで盛會裏に終えました。定番ですが、話題の中心は、殆んど、「お互い、年取ったねえ」、「あんな、年より随分若いんじゃないの?」、「認知症に罹った親の介護や自分の体調のことと有ってさ」等から始まり、学校当時の思い出話、家庭での孫の自慢話、海外旅行の話、一方、音痴っぽいカラオケ競いがメインでした。内緒の話、大トラの女性が一人居たそうです。

確かに、往復はがきの欠席回答のコメントは、大半が、足腰の不調や配偶者の看病が欠席理由の殆んどでした。残念なことだが、仕方がないことだと頷き合っていました。その三ヶ月後の役員会で反省意見を集約したところ、次のとおり。

最大の関心事は、「卒後六十周年をどう迎えるか」、「その前に、喜寿祝が有る」、「周年記念は、何かメモリアル的事業を考えた」、「植樹とか?」、「寄附とか?」(曆的には、六十周年慶事は、東京オリンピック開催年の翌年に当たる)「前倒して遡る手がある」

「とにかく、来年以降、毎年やる(集る)ようにしよう」「時間は、たっぷり有るようで無いものだ」「記念の事業は、地元深川での開催が望ましい」。深川開催について、先ず、地元意向を打診すべきだ」等々の意見が出された。

従って、深川から出席した仲間がこれら意見を持ち帰り、地元協議を進めることとし、次回開催に期待を込めて散会した。

(遠藤清之)

深西14期生深川近郊在住者 昼食会(正午〜3時)

○平成28年5月27日(金)

場所・まあぶ(11名参加)

○平成28年10月12日(水)

場所・プラザ富十屋(11名参加)

○平成29年5月21日(日)

場所・プラザ富十屋(10名参加)

詳細・前号にも掲載して頂きましたが、その後も深川近郊在住者昼食会を継続しております。年齢と共に夜の外出が億劫になり、かつ、少しのお酒にも酔いが早くなってきた現実を直視して、「酒え〜つ」との声

も出しづらい昼間の時間帯で実施しております。

深川近郊在住者ばかりでなく旭川・札幌圏からも駆けつけてくれる同期生もおりますので、たいへん楽しい会になっております。特にこの平成29年5月の昼食会には、本州から墓参に来られた同期生も加わり全国展開の昼食会になりました。

この昼食会の開催案内を、友人ネットワークを使っても声掛けしてくれる方々も多く、この時期に同期生情報が多く集まりますので、これに参加者一同共有することができ、顔を合せて食事をするが近況交歓する中で、介護や闘病の経験・教訓、更にじっくり趣味をライフワークにしている姿などの話を聞くにつれ、自信と勇気、そしてこれからの希望をもらっております。



深川西高第16回卒業生・

同期会 第11回同期会

6月16日、札幌市内のホテルを会場として、同期会を開催しました。

私たちが卒業したのは、昭和39年2月26日、277名でした。卒業後、有志の集まりが行われていましたが、昭和59年に同期会を開催したときに、代表、幹事などの役

員を決め、組織的な同期会と発足し、5年ごとに開催してきました。その後、平成11年以降は3年ごとに開催してきました。

今回の同期会は先生4名、同期生45名、49名の出席者でした。会場には、深川西高同窓会の「プレス幕」を掲げ、欠席者の返信ハガキ、卒業アルバム、過去の同期会の集合写真などを掲示しました。出席者はこれらのものを熱心に見ていました。

午後2時の開会にあわせて、集まってきた同期生は、受付で名札と同期生名簿を受け取り、クラスごとの卓に座ります。初めに、同期会代表幹事星野孟氏が、歓迎のことば、卒業後53年が過ぎたこと、楽しくひとときをすごしていただきたいとの挨拶を述べました。次に開会の乾杯を、三上俊輔先生が、スピーチと共に行ってください、宴に入りました。先生は、田中芳雄先生、戸田輝雄先生、竹田憲司先生です。約4時間という長い時間でしたが、同期生同士の話は尽きないようでした。次回は「喜寿」の年に開催するというになりましたが、5年後ですので、それまでに有志の集いを行うことになりました。



18期・札幌晩秋会

14名 日本旅行ビル
2016年10月30日

札幌在住10名に深川から宮岸、松本参加。

深川から持参のそば粉を店で打ってもらいソバを堪能。竹田先生夫妻も参加して楽しいひと時を味わう。

深川西高校第19期卒業生同窓会

2017年5月27日

北広島クラッセホテル

今年で深川西高校を卒業してから50年が経過しました。19期生は昭和42年春に卒業して以来今回で10回目の同期同窓会を「卒業50周年記念」として開催しました。卒業後はほぼ5年ごとに開催してきました。1回目から4回までは深川市内プラザホテル板倉、5回目は札幌後楽園ホテル、6回は



音江イルムの丘、7回は旭岳・湧駒荘、8回は秩父別・ゆう&ゆ、9回目と今回は北広島クラッセホテルでの開催でした。

19回同窓生の常設の組織化はなされてはいますが、その都度、深川在住の卒業生が中心になり、札幌、旭川など近隣に在住の有志を加え発起人会を結成（実行委員会）し、開催してきました。今回は奇しくも卒業50周年の節目の年であり、年齢も高齢者と表現される時期を迎えたことから「今回の最後の19期生同窓会になるのかな」という雰囲気や暗黙の内に感じながらの準備でした。

参加して頂いた同窓生もまた「これが最後になるかも」と感じていた人が多くおられたようです。ところが会場で久々に顔を合わせ思い出話に夢中になり盛り上がりつてくると「次回はいつどこでやるの。今度は永く間を置かないで早い時期にして」など、これが最後などと言う雰囲気は全く感じられない状況。

懇親会是一次会、二次会、そして三次会と時間いつぱい続いた。19期同窓会には道外から含め82人の出席（当日急用で出席できなかった人あり）。この会にはいつも出席してくださる田中芳雄先生に感謝。校歌の合唱に生バンドの伴奏で花を添えてくれた仲間にも感謝。

（記・寺下良一）

第20期同期会

平成28年8月6日

私達20期は夏季五輪の年に深川で、冬季五輪の年には東京で同期会を開催しています。昨年は深川で8月6日にプラザ富士屋で56名位（内先生3名）が出席。二次会・機関車までの5時間、なつかしく楽しい時を過ごしました。更に札幌が幹事の「愛・ふれあいコン



ペ」を年3回実施。内一回夏夏は必ず深川で開催。昨年は19名（本州組3人、地元8名、他道内8名）が参加。表形式を「南大門」で行い、夜の同期会までの時間ゴルフ談義で盛り上がりました。



第24期三二期会

平成28年10月22日

札幌京王プラザホテルにて39名の出席者で開催しました。卒業以来初めて出席された方、久しぶりに出席された方、昨年に引き続き出席された方、みんな和やかに会が進み、これからは「安否確認会」となってくるので健康でいる限りは毎年出席しようとして別れました。

（記・大平 由美子）

第二十回 同窓の夕べ盛大に開催

手さぐりの中で始めた同窓の夕べも20回を積み重ねました。

昨年、吹奏楽部が全道大会出場のため演奏が出来ず中止となりましたが今年は演奏を披露することが出来ました。

司会…山田弥佳さん(39期)
挨拶…実行委員長・寺下良一さん(19期)
学校長挨拶…岡戸校長
同窓会長…大西道祥

乾杯…中村隆志(1期)

ゴルフコンペの表彰式を開催

楽しいイベントはじゃんけん大会…(39期) 同窓会お名前ビンゴ…(39期) 大抽選会は49期の担当で例年通り盛会裏に行われた。時間も押して、興奮は収まりつつ出席者全員で校歌の斉唱。最終章はタスキの引き渡し。児島俊一・次期実行委員長よりメの挨拶と次回への決意表明。更に引き続き次年度も皆さんに参加して欲しいと呼びかけをして楽しく、美味しく、酔っぱらって終焉となりました。終了後それぞれ街中に繰り出し同期で盛り上がった期もあったようです。参加の皆様大変ご苦労様でした。



受付風景



乾杯・中村隆志さん



岡戸前校長挨拶



大西会長挨拶



寺下実行委員長挨拶



進行 39期山田弥佳さん



じゃんけん大会



吹奏楽演奏



大抽選会



次期児島実行委員長



タスキ引継ぎ



高らかに校歌斉唱

同窓の夕べ 開催のお知らせ

第二十一回「同窓の夕べ」を次の通り開催致します。

日時 平成29年9月16日(土)
開演 午後6時(吹奏楽部の演奏)
開会 午後6時半
会場 プラザホテル板倉(深川市3条6番)
会費 2,000円(当日券あります)

実行委員会は二十期、三十期、四十期、五十期、六十期が担当です。実行委員長は二十期の児島俊一さんです。

九月の第三土曜日に固定され、ゴルフコンペも同時開催でいよいよ楽しめる一日となりました。趣向を凝らした進行と催し、考え抜かれた賞品の抽選会での盛り上がりで親睦を深めています。都合を付けてこの日程に合わせて参加して戴けたら嬉しいです。

多くの同窓生の参加をお待ちいたしております。

学校行事

3年間勤務された岡戸校長が3月をもって定年退職となりましたが本校生徒の資質向上に力を注がれた大きな成果を残して退任されました。本間に3年間ご苦勞様でした。後任に鹿追高校から阿部 穰校長が赴任されました。これからよろしくお願いいたします。着任のご挨拶を頂く所ですが、学校長には毎回コーラス大会のプログラムの挨拶を掲載させて頂いています。今号もご紹介を兼ねて掲載いたします。

第61回コーラス大会

～伝統の継承

校長 阿部 穰

校舎から見える音江連山に残る雪もあと僅かとなりました。長く厳しい冬が終わり、北空知の春の野に輝く新緑が日増しに色を深めるこの季節は、深川西高校3大行事の一つである「コーラス大会」の季節でもあります。深川西高校の春は、校舎に美しく響く生徒の歌声とともにやって来ると言えるでしょう。

校長室に残る過去の記念誌には、昭和31年2月に「コーラスコンクール」開催の記載があり、さらに、翌年6月に現在の名称である「コーラス大会」として歩み始めたことが記されています。以来60年間、この素晴らしい伝統を引き継いできました。当時在校生であった先輩方は、すでに70代後半となり親子3代での行事を経験している家庭もあるかと思えます。戦後の復興期、高度経済成長、オイルショック、バブル経済、東北大地震の経験と深川西高校を取り巻く時間は流れ社会は大きく変化をしていますが、生徒



たちが歌うハーモニーは変わることなく北空知の沃野に響き渡っています。今年で第61回目となる「コーラス大会」ですが、諸先輩方が大切に引き継ぎ、育ててきた結果の開催であることを忘れるわけにはいきません。この素晴らしい歴史と伝統をこれまでに以上に発展させながら継承していきましょう。



さて、課題曲が「いのちの名前」と決定し、連休明けには大会に向けての本格的な練習が始まりました。限られた時間の中でクラス、そして連合で取り組むことは大変なことであったかと思いますが、時にはクラスがまとまらずに



緊張感あふれるステージで元氣あふれる美しいコーラスが発表されることを楽しみにしています。

軌轢が生じたこともあったかもしれませんが、困難な壁を乗り越えたときにこそ人間は成長するはず。だからこそ、みんなの気持ち一つになって歌い終えたとき大きな達成感を実感し、聴く人々の心に感動を与えるのです。

「新入生宿泊研修」

深川西高（阿部穰校長）の一年生を対象にした宿泊研修がこのほど、音江町のネイパル深川であり、四月に入学したばかりの百二十二人が集団生活の中でコミュニケーションを図りながら、協調性を養った。宿泊研修は四月二十七日・二十八日の日程で実施。一年生の団結力や社会性を育む九



つのプログラムが用意され、研修の目玉は、二日目に一年生全員でつくった「人文字」。青色の指定ジャージを着た生徒たちが「FUKAGAWA」の文字をつくり、空撮を終えると、隊列を組んだ生徒たちの拍手が沸いた。

二日間ではこのほかに、各中学校から入学した一年生が仲間と打ち解けるコミュニケーション・トレーニングや、命の大切さを学んで緊急時に備える救急救命講習会、音江地区のごみ拾い活動などが行われた。

一年主任の玉井康夫教諭は「入学して間もない一年生の宿泊研修は、深西生の自覚と責任を持つてもらうきっかけづくりの一つ。いま、深西がおもしろいと、地元の人たちに応援してもらえ学校を目指したい」と話している。

文・北海道新聞提供

第68回学校祭

～新たな文化の創造を～

校長 阿部 穰

いよいよ第68回目となる深川西高校学校祭が始まる。これまでの学校祭テーマを調べてみれば「伝統を確認し新たな活動を積極的に展開しよう」（第16回昭和40年）「いざ見つめよう 今この時を 掲げよう 燃える力を」（第28回昭和52年）「平成維新」そしてここから深西の新しい時代が始まる（第41回平成2年）などと様々ではあるが、それぞれの時代に新しい学校文化を創り上げようとする高校生たちの熱い思いを感じ取ることができる。かつて、校舎やグラウンド、校庭などを文字通り自らの手で作り上げた開校当時の先輩たちの熱意と通ずるものがある。

時代は経過して、校舎や学校周辺の環境、さらには社会状況が大きく変化している平成29年7月、生徒の皆さんにとって「今、西からできる。今にしかできないこと」は何だろうか。生徒会執行部から出されている学校祭の意義や方針を確認しつつ、高校時代にしかできないことを精一杯成し遂げてもらいたい。

これまでの歴史を受け継ぎつつ、皆さんの手で深川西高校の新たな文化の歴史を創り上げよう。

【第68回学校祭】

今年のテーマは

金善前・進

今、西からできる。今にしかできないこと

日程

七月八日（土）

開祭式・合同演劇・アピール

七月九日（日）

展示・緑日・ステージ発表・行燈行進

七月十日（月）

総後片付け・閉祭式で結果発表

一年時、よくわからぬまま流した汗。二年時には先輩を追い越そうと燃えた心。余裕の三年生にとっては最後の祭り。こうして受け継がれてきた学校祭も時代の流れとともに変化を遂げています。今でも市中を練り歩く行燈更新が出来ることにほっとしています。

好天に恵まれた二日間。合同演劇は一三組連合と二四組連合で発表。アピールでは校舎前の駐車場に創意工夫を凝らした独創的なダンスや音楽で溢れるような若さがはじけています。色彩豊かな行燈行列では組別に声を掛け合いながら昔と同じように市内を練り歩きます。夏を過ぎたばかりの夕刻は学校に戻っていく頃に灯る行燈が輝いて元氣も最高潮になります。帳が下りる中、火花を見上げながらファイナルへと誘います。今年も又、生徒の熱い夏も終わりました。

行燈



高校体育連盟大会成績

全道大会

【女子バレーボール】 札幌市 高体連		
決勝トーナメントで敗退		
【弓道】 札幌市 高体連		
個人男子	早川	予選敗退
【卓球】 札幌市 高体連		
女子ダブルス	木田・牧野	1回戦敗退
女子シングルス	木田	2回戦敗退
女子シングルス	牧野	2回戦敗退
【バドミントン】 滝川市 高体連		
女子団体		北北海道3位
男子ダブルス	篠永・久保田	2回戦敗退
男子シングルス	田中	北北海道ベスト8
男子シングルス	辻	2回戦敗退
女子ダブルス	佐藤・内山	優勝
女子ダブルス	片山・中塩	2回戦敗退
女子ダブルス	中村・漆畑	2回戦敗退
女子シングルス	内山	優勝
女子シングルス	佐藤	1回戦敗退
【陸上】 旭川市 高体連		
男子800m	松本	予選敗退
男子110mH	立花	予選敗退
男子400mH	立花	予選敗退
男子走り高跳び	四十坊	予選敗退
男子走り幅跳び	四十坊	予選敗退
男子走り幅跳び	奥谷	予選敗退
男子三段跳び	四十坊	予選敗退
男子砲丸投げ	吉澤	予選敗退
男子円盤投げ	吉澤	7位
男子やり投げ	吉澤	予選敗退
女子200m	宇羅	予選敗退
女子400m	奥谷	予選敗退
女子400m	宇羅	予選敗退
女子800m	馬場	予選敗退
女子1500m	馬場	予選敗退
女子400mH	今田	4位 全国へ
女子400mH	富岡	予選敗退
女子5000mW	木村	10位
女子4×100m	宇羅・斎藤・奥谷・今田	準決勝敗退
女子4×400m	宇羅・斎藤・奥谷・今田	準決勝敗退
女子走り高跳び	今田	予選敗退
女子走り高跳び	窪田	予選敗退
女子走り幅跳び	今田	7位
女子円盤投げ	松本	予選敗退
女子やり投げ	松本	予選敗退
【卓球】 札幌市 国体予選		
男子シングルス	高橋	2回戦敗退
男子シングルス	道下	2回戦敗退
男子シングルス	大道	2回戦敗退
男子シングルス	松本	2回戦敗退
女子シングルス	木田	4回戦敗退
女子シングルス	牧野	1回戦敗退

高校文化連盟大会成績

【放送】 函館市 高文連放送発表大会	
ラジオドキュメント部門	39作品中37位
創作ラジオドラマ部門	43作品中28位
創作テレビドラマ部門	39作品中25位
研究発表部門	25作品中19位



課外活動



インターハイ出場



バドミントン
佐藤 萌 (3年) 内山真希 (2年)



陸上
今田玲菜 (3年) 女子400mハードル

【写真:北空知新聞社提供】

野球部OB会（北空知新聞より転載）

二年ぶりの全道大会出場を目指す
深川西は、十六日の二回戦でクラーク対岩見沢農の勝者と対戦する。昨秋の支部予選では、準決勝でクラークに快勝し、相手の夏春連統甲子園出場を阻んだ。伊藤祐介監督は「クラークの選手は昨年同様。一冬越えてレベルアップしていると思うので、秋の結果は参考にならないと思う。岩見沢農もいいチームと聞いているし、どちらが勝ち上がってきても、ウチとしては、自分たちの野球をやるだけです」と話す。

昨秋、クラークに打ち勝った打線は、冬季間の振り込み、さらに初戦は十六日農業を営む保護者の協力を得ての「飯トレ」でさらに力をつけた。「選手個々にパワーはついてきたと思うが、下位打線はまだ弱い。力のある上位で好機を作り、得点につなげられれば、勝機も出てくると思う」（伊藤監督）
一方、投手陣は、昨秋は救援だった南 洋輔（三年）が主戦を担う。フォームを変え、球の威力キレが増した。また、昨秋エースナンバーを

背負った柴垣保志（三年）も復調傾向で、投手陣をリードする毛利晟汰主将（三年）は「柴垣の調子が戻ってくれば、投手陣の厚みは増す。彼らのいい所を引き出せるような配球を心がけたい」

深川西が春夏連続で支部予選を突破し、全道大会、北海道大会に出場した二〇一五年。現在の三年生はスタンドから先輩たちに声援を送っていた。毛利主将は「僕たちも円山やスタルヒンでプレーしたい、このチームで全道大会に行きたいという思いは持っている」と言葉に力を込める。

◇
春季大会に臨む選手たちを後押ししようと、野球部OB会の桜井英夫会長が十一日、同校グラウンドを訪れ、スポーツドリンクを寄贈したほか、「練習の成果を力一杯発揮して、悔いのない戦いをしてほしい」と激励した。
選手時代に全道大会出場を経験している桜井会長は、大型連休中の練習試合を観戦し、「昨年も公式戦に出

場しているメンバーが成長している。下級生にも力のある選手が多く、春までの比較なら、昨年よりチーム力は高いと思う。楽しみですね」と笑顔で話す。また、野球部はこの春、OB会や野球部後援会、父母の会などのサポートを得て、遠征用のバスを購入。桜井会長は「ぜひ、このバスに乗って円山球場に行ってくれば」と期待している。



（写真：北空知新聞提供）

開校80周年記念のこと

2018年（平成30年）に当校も80年の歴史を刻むことになります。少子化時代を迎えて今後の学校の再編統合等の推移を見ながら大きな事業の予定はしていないようですが80周年の節目は盛大にお祝いする予定です。現在、

平成30年10月20日（土）に式典開催予定で計画を進めています。
事業の一つに同窓会名簿の発行があります。時代の流れの中で個人情報保護の観点から発行も難しい時代を迎えています。が絆を確認する上で

は重要なツールとなっています。同窓生会員の皆さんの意思を尊重しながら今回も（株）サルトに委託しましたのでご協力よろしくお願いいたします。
他に記念講演会、発表会、作品展示等が企画に入っているようです。同期で80周年記念ツアーなど企画されてはどうですか？

平成28年度 一般会計決算報告

収入の部

項目	金額	備考
前期繰越金	383,551	
入会金	180,000	120名×1,500円
振替金	670,000	宮脇基金より
雑収入	214,001	会報協力金等
合計	1,447,552	

支出の部

総会費	107,946	
役員会費	27,896	
会議費	68,644	
交際費	249,000	全国・全道大会、歓送迎会
事業費	977,893	会報、校旗、吹奏楽等
通信費	4,680	
印刷費	6,342	
広告宣伝費	0	新聞広告
事務費	0	
雑費	2,376	
次期繰越金	2,775	
合計	1,447,552	

夢を追いかけて オーストラリアに・・・!!

私はここパースで
命を救われた！
3度の癌を乗り越えて。――

白川 勝弘（高8）

昭和12年、樺太で12人兄弟の末っ子として生まれました。樺太は昭和20年の終戦を機にソ連領になりました。終戦当時、私は小学2年生でした。終戦直後に起きた「三船殉難事件」では、樺太から引き揚げる1,700人以上の日本人が国籍不明の潜水艦の魚雷により死亡しました。私達も日本に引き揚げる予定で樺太の先端の大泊おおどまり港まで行きましたが、事件により2隻沈没、1隻は大破。家族は引き揚げを断念することになりました。

ソ連軍の進駐により完全にソ連の統治下になり、通っていた学校は廃校になりました。終戦から1年ほど経ち学校は

再開されましたが、半分がロシア人で、教科書も無く、ちゃんと勉強をした記憶はありません。敗戦国の子供達の遊びは日本兵が置き去りにした戦車、自動車、鉄砲などで遊ぶんです。兄達は自動車をちよっと動かしてみたり、戦車の中をいたずらしたり、乾燥させたヨモギの葉を採って煙草を作り火をつけたりとて大人がやるようなことを真似して遊んでいました。

小学3年の時、深川に引き揚げてきて深川西高校3年まで過ごしました。樺太ではまともに勉強をしていませんでしたから苦労しました。1、2学年落第させるかとも言われたのですが、深川に来てすぐ小学校の教師になった2人の姉に毎日勉強を教えてもらって、やつとついていくことができました。皆がすでに九九の勉強が終わった頃、樺太で遊んでいた訳ですから無理ありませんね。小学五年から高校3年までの約8年間、ボーイスカウトに入っていた経験が今のパース（西豪州）での「虹の会社会福祉法人」活動につながることになり

ました。

昭和35年に大学を卒業し、大手運輸会社に就職。東京、仙台、大分、大阪、和歌山など転勤を繰り返して38年間勤め上げました。パースへ越してくるまで家を変えたのが25回、娘達2人は小学校を3回変わっています。パースを選んだ理由は、25年ほど前就職していた長女が、もう一度英語の勉強をしないとパースへ留学し、そこで豪州人と結婚し永住することになったのがきっかけです。定年を迎え、会社から再就職の話もあったのですが断って、平成10年9月に妻とパースに永住することにしました。

来て3カ月ほどたった頃、急に体重が減り、検査を受けたところ、脾臓(ひそ)に大きな腫瘍があることが分かり即入院。脾臓の全摘出手術を受けました。病理検査の結果、悪性リンパ腫と診断され、翌年7月まで4週間ほどの化学療法を計6回行いました。抗癌剤の副作用で全身をまだら模様の湿疹が覆い、激しいかゆみ、39度以上の高熱、下痢、吐き

気、鼻の中の毛まで抜けてしまいました。が、なんとか癌は治まったかと思いましたが、

罹患後3年が経った平成13年12月のことでした。シャワーを浴びる時には必ずリンパ節を触る習慣をつけていたが、右脇下にしこりを見つけたのです。前回と同じ癌細胞が見つかり、治療しなければ余命2カ月、治療しても治癒率は20%と主治医に告げられました。この時ばかりは生と死を考え悩み、さすがにもうダメだろうと遺言書を作りました。この時も化学療法と放射線治療を受け、どうにか難を逃れましたが3年半後の平成17年、日課の散歩に出かける時に股関節に激痛が走り、歩けなくなってしまうのです。検査の

結果、座骨部のCTスキャンで股関節に穴が見つかり、再々発であることが分かりました。癌細胞が骨に転移したら、もう最後だと聞いていましたから、気が動転し2、3日は放心状態でした。それでも諦めず癌に立ち向かいました。この時も化学療法と放射線治療でひどい副作用に悩まされました。

癌が見つかった時は、知っている病院も多い日本へ帰ろうと思いました。その時娘が寂しそうに「ここで治療を受けてみたら」と。永住権を持っていたから「国民健康保険」も使えたのでこの医療機関でお世話になろうと決意。以来、日豪の医療機関の対応の差を感じるにつれて今では豪州での治療を選んで良かったと思っています。

妻と娘の支えは本当にありがたいものでした。癌が見つかった時、娘は仕事を辞め、専属の通訳、看護師、世話役になってくれました。食事には苦労しました。戦時中の食べ物の苦労を知っている私ですが、2日間で豪州の病院食に音

を上げました。入院中は毎日3食、妻と



娘が病院に食事を運んできてくれました。妻と娘にとって食事の世話が一番大変だったことでしょう。

今、パースが第二の故郷となっています。この国に何も尽力もしないまま命を助けてもらいました。何かお返しをしたいと思い、17年前から「虹の会」の活動に携わっています。日本の文化を継承、紹介しながら活動に積極的に参加しています。幼少の経験から戦争を知らない人達に、戦争の恐ろしさを伝え、平和は自然と訪れるものではないということ

を認識してもらい、自分達で平和を築き上げる大切さを学んでもらいたいと思っています。

どろやなギ

(編集後記)

▼頭も体も動きが重くなってきたのに伴って会報の発行も多少しんどくなってきましたが、回を重ねて漸く第九号の発行に至りました。手刷の会報発行から通巻十九号になります。

二十年の節目を目前にして開校以来八十年を積み重ねてきた中での四分の一以上を同窓会に関わらせていただきました。同窓の絆を保ち続ける事も大切だとの思いから同窓生の皆さんには無理な要望や協力もお願いしました。「申し訳なかったなあ」と言うのが実際の感想ですが、同窓会活動が卒業生の一割の方のご協力で支えられている事を記しておきたいと思い

【お知らせとお願い】

※資料収集のお願い。毎度のことですが古い資料を探しています。年数を経くると貴重な資料も散逸して確保が困難になります。ご提供いただけるものがあれば是非お願いしたいのです。お借りできるものはコピーをしてお返しいたします。

※創立20周年記念誌・復刻版

昭和33年9月6日に発行された本校の記念誌「創立20周年記念誌」です。(B5判102ページ)

※校歌・学生の歌・追憶歌のCD
CDは卒業生へ記念品として贈呈しています。

※第60回 全校コース大会の記念DVD
記念DVDは全校生徒に記念品として贈呈しています。

ます。ご協力ありがとうございました。

▼「記事は足で稼げ」商業紙ならそういう事でしょうが、会報ではなかなかそうはいきません。皆さんからの情報提供、寄稿等をお寄せいただき、充実した紙面を構成する為に情報提供を含め、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

▼二〇一八年には開校八十周年を迎えます。昨年つづやいた様に「地方創生」の掛け声は、地方早逝に向かつて進んでいるようで、無策とも言える少子化による生徒数の減少は顕著で深川東校も間口減少は確実、今後は二校の存続が危ぶまれる危機的状況。折しも今年には新設の学校許可への付度の有無で揺れています。不思議な国ですね。

▼多くの人は「花」と言う字から悪い

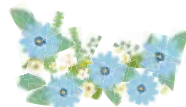
※緑の学び舎運営委員会・五周年記録史「緑魂は時空を超えて」
残部50部ほどありますのでご協力いただければ幸いです。

(A5判 154ページ ほとんど方々) いずれも同窓生の皆さんの中で入手希望の方が居られましたら郵便振込にてお申込みいただければ送料込みの1,000円にて頒布いたします。

入手希望の方は左記口座に郵便振込にてお申込みください。

口座番号は
0277012145435

加入者名
北海道深川西高等学校同窓会



印象を抱かない。怪しい印象が見受けられるから確かめているのだけれど「印象操作」の言葉を連発するのは印象はあまり良くない。一強は結構だったけれど度が過ぎるといささか目に余る。メディアが権力に対して度を過ぎるのが問題で自由にものが言えなくなりかけているのはやはり危険だ。

▼自分の思った通りの人生を歩んでいる人もいます。ところがほとんどの人は二者択一の人生。どちらかを選んで選んで歳を重ねている。同窓会名簿を見ていると、そんな感慨を覚える。色々個人情報等で問題はありますが名簿発行にご協力をよろしく願います。

(溝口 信義・記)(18期)